

## 9章：中学受験に必要な能力！

自分の子どもが中学受験をすると他人に伝えると「勉強ばかりじゃなく、バランスの取れた大人にならないとね。」なんてことを言う人がいる。特に会社の上司や先輩ママで親子ともそのような経験が無い人は、決まり文句のように言う。恐らく、中学受験のことを何も分からず、言っている典型だと思うが、いつの時代も少数派は少し変わった目で見られる。

そう言う意味で、必要な能力は他人に流されない。自分は変わっていて良いと思える能力。決して自分勝手や自意識過剰ではいけないが、すぐに周りに流されたり周りに同調することで無難に人生過ごしているようでは、自称バランス感覚のあるステレオタイプ人間になってしまう。

それともう一つ、とっても大切な能力、それは体力。『元気があればなんでも出来る！』じゃないが、平日は早朝から学校に通い、その後やっと家庭や塾で受験勉強の時間が取れる。休日も朝から夜まで机に向かって受験勉強。元気じゃないと、続けられないし、体力がないと集中力が続かない。ましてや、受験本番に近づくにつれ、気候は冬になり体調を崩してしまうと、ペースが落ち1番伸びる時期を逸してしまう。

わが子は小学校1年生から5年生まで空手をしていた。始めるきっかけは、

生徒募集のチラシを持って来て「見学に行ってもいいかなあ？」と自分自身でやりたいと言って始めた。親の鼻目もあるとは思いますが、他のどの子よりも熱心に毎回真剣に取り組んでいたように思う。決して運動神経が良く、センスのある方ではない息子だが、師範や指導員も息子の気持ちに伝えてくれるかのようになり、とても熱心に指導してくれた。年上の子や息子より先に始めた子よりもどんどん上達して行き、初段（黒帯）まで進級して終えることが出来た。併せて、体力向上にとっても役に立ったと本人も言っている。

ここで2人、異色でとっても優秀なラグビー選手を紹介したい。1人目は、元日本代表キャプテン・廣瀬俊朗選手。大阪府の名門・府立北野高校（元大阪府知事・大阪市長・橋下徹氏も同校同クラブ出身）から慶応義塾大学へ指定校推薦で入学・・・

**※全文をご覧になりたい方は小冊子プレゼントフォームへお進みください。**